

**【別表A(5) - 1(公益充実資金の明細)】**

下表の水色欄( )を記載ください。黄色欄( )は自動計算されます。

1. 公益充実資金の前年度末明細

公益充実資金の前年度末値を確認します。

前年度末				
各資金の明細		実施時期(年度) 西暦	所要額	残高
全国講演大会支援積立金	費用	2031	13,000,000 円	13,000,000 円
若手研究奨励基金積立金	費用	2025	1,500,000 円	1,500,000 円
広報HP改編費用積立金	費用	2025	443,400 円	443,400 円

2. 公益充実資金の本年度末明細

公益充実資金の本年度末値を確認します。

当該事業年度開始日(西暦)	2025/4/1
---------------	----------

本年度末					
前期末残高	取崩額(合計値)	取崩額のうち資産取得分以外	積立額	今期末残高	積立限度額
14,943,400 円	4,143,400 円	4,143,400 円	0 円	10,800,000 円	10,800,000 円
各資金の明細	実施時期(年度) 西暦	所要額	取崩額(個別)	備考	
全国講演大会支援積立金	費用	2031	2,200,000 円		
若手研究奨励基金積立金	費用	2025	1,500,000 円		
広報HP改編費用積立金	費用	2025	443,400 円		

3. 公益充実資金の積立内訳、積立基準額の算定値(中期的収支均衡の50%超繰入れ時用)

中期的収支均衡の観点で、50%を超えて繰入れをする際に使用する公益充実資金の各種算定値を確認します。

各資金の明細	期首積立内訳(算定値)	残り必要額(算定値)	支出までの残存期間	活動毎積立基準額(算定値)	積立基準額(算定値)
全国講演大会支援積立金	費用 円	10,800,000 円	71 月	1,825,352 円	1,825,352 円
若手研究奨励基金積立金	費用 円	0 円	11 月	0 円	
広報HP改編費用積立金	費用 円	0 円	11 月	0 円	

4. 公益充実資金と公益目的事業費率、使途不特定財産上限との関連値

公益目的事業費率及び使途不特定財産上限との関係で、公益充実資金における必要な値を確認します。

各資金の明細	積立内訳(算定値、公益実施費用額に算入)	取崩内訳(公益実施費用額から控除)
全国講演大会支援積立金	費用 0 円	
若手研究奨励基金積立金	費用 0 円	
広報HP改編費用積立金	費用 0 円	
合計	0 円	4,143,400 円

## 【別表A(5) - 2(公益充実資金の明細)】

費用	
特定の事業又は資産取得等の名称	全国講演大会支援積立金
当該活動の内容	春と秋に全国各地で開催する支部主催の全国講演大会
計画期間(目的設定～実施)	西暦 2020 年 4 月 ~ 2031 年 3 月 月数 ( 131 月)
所要額の算定方法	講演大会1回につき1,000,000円を支援する。令和3年度の春から始め、それ以降は春・秋年2回支援を行う。 そのため、令和3年度～令和12年度の期間で総額2,000,000円×10回=20,000,000円を支援する。

費用	
特定の事業又は資産取得等の名称	若手研究奨励基金積立金
当該活動の内容	鑄造工学に関する学問・技術及び産業活性化に寄与するため、若手研究者を対象として、鑄造工学に関連する研究の継承・発展を奨励する。
計画期間(目的設定～実施)	西暦 2017 年 4 月 ~ 2026 年 3 月 月数 ( 107 月)
所要額の算定方法	年間4名に対して500,000円を授与し、5年間実施する。 500,000円×4名×5年間=10,000,000円 令和5年度に計画期間を延長した。

費用	
特定の事業又は資産取得等の名称	広報HP改編費用積立金
当該活動の内容	広報用ホームページの構成を改編する
計画期間(目的設定～実施)	西暦 2020 年 4 月 ~ 2026 年 3 月 月数 ( 71 月)
所要額の算定方法	広報用ホームページの構成を改編する費用に引き当てる